

編集要項

1. LAGUNA（汽水域研究）は、島根大学汽水域研究センターにおいて、年1回発行する。
2. 本誌には、本センターの教員、研究員、客員研究員、協力研究員および編集委員会が特に認めた者が投稿することができる。
3. 編集委員には本センターの専任教官があたる。
4. 本誌の内容は、論説（article）、研究短報文（short note）、資料・解説（review）など、広く汽水域に関わるもの、および本センターの活動に関わるものとする。
5. 執筆者は次項の執筆要項に従うものとする。
6. 投稿原稿の掲載の可否については、関連する研究者の査読を経た後に、編集委員会が決定する。
7. 別刷りにかかる経費は著者の負担とする。

執筆要項

1. 投稿原稿の本文の用語は日本語または英語とする。原稿の長さについては特に規定しないが、大部の場合は編集委員が縮小を要求する場合がある。

2. 原稿はワープロを使用することとする。その場合、1行23文字（半角46字）、1ページ23行、上下左右のマージンを2.5cm以上空け、査読のコメントを記入できるようにダブルスペースの原稿を提出すること。なお、刷り上がり1ページは、横書き1行23字、46行の2段組（約2,100字）を基本とする。

3. 数字はアラビア数字、生物和名はカタカナを用い、学名はイタリック指定のこと。時間、濃度、速度などを表す場合には、SI単位を用いること。ワープロ原稿には特殊文字（丸付き数字、ローマ数字、単位などの複合記号など）を用いないこと。句読点は「，」「．」を用いること。また、文字の書式指定はプリントアウトした原稿に赤色で示す。本文の見出し項目（たとえば「はじめに」、「材料と方法」、「結果」、「考察」、または「結果と考察」）などは波下線でゴシック指定、学名など、イタリックの指定は下線を引いて行う。

4. 報文の構成は以下の通りとする。

日本語原稿の場合：表題、著者名所属、英文表題、英文著者名・所属、英文摘要（Abstract 200語以内程度）、英文キーワード（5語以内）、本文、謝辞、引用文献、図表の説明文一覧。

英語原稿の場合：表題、著者名所属、キーワード、本文、謝辞、引用文献、図表の説明文一覧。原稿の第1枚目は表紙とし、その上半部には表題から英文所属までを書く。原稿第2枚目には摘要とキーワードを書き、本文は第3枚目から始める。表紙を含め、通しページ番号を打つこと。

5. 本文中での文献の引用は次の例に従う。また、3名以上のものについては、「・・・ほか」または「・・・et al.」とする。

- ・・・山田・松井（1993）は宍道湖・中海の魚類について・・・
- ・・・and Avise et al. （1987）speculate that this may have arisen from・・・
- ・・・植物生態学分野について記述している（吉田，1992；佐藤，1993）。

6. 引用文献は謝辞の次にアルファベット順にまとめ、各文献は次の例に従う。

（論文）

Andrew, N. L. and Jones, G.P. （1990） Patch formation by herbivorous fish in a temperate Australian kelp forest. *Oecologia*, 85: 57－68.

樋口利雄（1971）東北地方の風穴地における鮮類植生. 鮮苔地衣雑報, 5: 174－178.

Iwakuma, T., Shibata, K. and Hanazato, T. (1989) Production ecology of phyto- and zooplankton in a eutrophic pond dominated by *Chaoborus flavicans* (Diptera: Chaoboridae). Ecol. Res., 4: 31–53.

八木正一 (1984) 水道におけるかび臭障害の現状. 用水と廃水, 26: 813–822.

山本進一 (1984) 森林の更新—そのパターンとプロセス—, 遺伝, 38: 43–50.

(単行本)

北村四郎・村田源 (1971) 原色日本植物図鑑・木本編I. 保育社, 大阪, 453 pp.

Parsons, T. R., Maita, Y. and Lalli, C. M. (1984) A manual of chemical and biological methods of sewage analysis. Pergamon Press, New York, 173 pp.

(章)

Dayton, P. K. and Tegner, M. J. (1984) The importance of scale in community ecology: a kelp forest example with terrestrial analogs. In: A new ecology: novel approaches to interactive systems. (eds.) Price, P. W., Slobodchikoff, C. N. and Gaud, W. S. pp. 457–481. Wiley, New York.

7. 図(写真を含む)と表は1つずつ別紙に書き, 右上端に図・表の番号と著者名を鉛筆書きすること. また, 日本語原稿の場合でも, 図・表中の言語は, なるべく英文を用いることとし, 説明文は英語と日本語の2通りで書くこと. なお, 説明文は別紙にまとめて書き, 本文に続くページ番号を打っておくこと.

図と表は原則としてそのまま製版できる状態とし, 縮小率または縮小した場合の横の長さを指定すること. なお, 刷り上がりの図・表の大きさは, 原則として横17cm, または8cm, 縦は24cm以内となるので, これを考慮して製図, および縮小率の指定を行うこと. カラーで印刷する図のみカラーで作成した原稿を提出すること. 印刷時の大きさを考慮し, 文字の大きさや記号の見やすさを吟味した上で十分な解像度の図の原稿を作成して提出すること.

表は, 縦の罫線は使わず, 横罫線も最小限にとどめること. 写真は本文中に掲載する場合は図と同様な番号を用いてよい. 独立した写真図版とする場合には, 横17cm, 縦27cmの版面にバランス良く配置し, なるべく原寸大の印刷指定とする. 図版中の図を本文中で引用するときには, (図版I, 図1), または (Plate I, Fig. 1) のようにする.

プリントアウトした原稿には, 図表の挿入位置を赤色で印すること.

過大な図表およびカラー図版については, その印刷実費を著者が負担する.

8. 投稿の際にはプリントアウトした本文原稿および図表原稿と, そのコピー1部を提出すること. その後, 編集委員会から指示があった際にフロッピーディスク, MOディスク, CDなどの電子媒体に保存した原稿を提出すること. ワープロ原稿は, 原則としてMicrosoft Wordのファイル(テキストファイルでも可)とする.

9. 本文を補足するための図表および数値データは, 島根大学汽水域研究センターのホームページによって公開することができる. ホームページによってダウンロードできる表および数値データは, 原則としてMicrosoft Excelのファイル(テキストファイルでも可)とし, 図は, 原則としてjpeg形式(PICT形式でも可)とする. これらのファイルは, MOディスク, CDなどの電子媒体に保存して提出のこと.

10. その他の書式については過去の掲載論文を参照し, 編集委員会の指示に従うこと.

11. 投稿の際には必要事項を記入した原稿整理カードと原稿を編集委員会まで提出すること. 提出された原稿は原則として返却しないので, 返却希望者はその旨申し出ること.